

第7回自然散策会

場 所：飯能市街と多峯主山（とうのすやま）
日 時：2025年4月10日（木）9時30分～14時30分ころ
参加者：石井、岡登、河野、豊福、廣川
案 内：岡登
報 告：豊福

まず、街中の歴史的建造物を何軒も次から次へと見て回りました。立て板に水の岡登さんの説明付きです。中でも表側だけ洋風の「看板建築」は面白いと思いました。

街を離れて山道に向かう途中、善導寺を訪問。本尊は、法衣が台座の下まで垂れているのが特徴（「法衣垂下像」）。この寺で縁日に草餅が提供されるので「草餅観音」とも呼ばれるとのこと。廣川さんは草餅のことが気になったようで、寺の人に「今日は草餅はないんですか」と尋ねておられました。今年は4月18日が縁日祭日（聖観音座像公開・草餅の日）とのことでした。

以上の歴史探訪の過程も含めた全行程で、「自然」散策会の名にふさわしく、たくさんの動植物やその形跡に出会うことができました。時間は前後しますが、まず、飯能駅北口を出発して3分ほど歩いたところでいきなりビルの狭間を乱舞する数羽のチョウゲンボウに遭遇。さすがの岡登さんもこんな街中で見るのは初めてとのことでした。廣川さんは3歩歩いては何かを見つけて瞬時に同定していくといった離れ業で、記録係は大変でした。「今日は廣川ワールドですね」と岡登さん。

チョウゲンボウを見上げる参加者
チョウゲンボウは撮り損ねた



ウに遭遇。さすがの岡登さんもこんな街中で見るのは初めてとのことでした。廣川さんは3歩歩いては何かを見つけて瞬時に同定していくといった離れ業で、記録係は大変でした。「今日は廣川ワールドですね」と岡登さん。

＜出会った動植物など（概ね時系列順、抜粋、街中含む）＞ヒメウス、シロバナタンポポ、ナシの栽培品種、ガビチョウ（鳴き声）、ウマノアシガタ、ニワトコ、エナガ、ミミナグサ、ガマズミ、クサボケ、イノシシのぬた場、セキショウ、ネコノメソウ、カキドオシ、ワラビ、キランソウ、キツツキの仲間（ドラミングの音、イヌザクラ、マユミ、クマシデ、ヤマツツジ、ウグイスカグラ、ヤマザクラ、アナグマの巣穴、シカの寝床、ウリカエデ、ネジキ、マルバアオダモ、ニガイチゴ、ミツバツツジ、テングチョウ、アズマヒキガエル（卵と成体）、ニリンソウ、モミジイチゴ、コ克蘭、ニオイタチツボスミレ、ミツバツチグリ、クサイチゴ、コアジサイ、オトコヨウゾメ、クロモジ、ゼンマイ、ノミノフスマ、アカメヤナギ、キツネアザミ、アリアケスミレ、オオジシバリ、クサノオウ、ヒメスミレ
〔見分けのポイントひとロアドバイス〕「対生ならネコノメソウ」



多峯主山山頂

「看板建築」
左側に回り込むと本体は木造である
ことが分かるが、写真を撮り損ねた



善導寺



ヒメウス

(河野さん)「ウワミズザクラの葉は赤ちゃんの手みたいにしっとりしている」(廣川さん)

ニワトコ



アナグマの巣穴



ウリカエデ



ミツバツツジ



ニオイタチツボスミレ



ニリンソウ



クロモジ



アカメヤナギ



アリアケスミレ



休憩のひと時や散策の道すがら、意外なネタで盛り上がる場面もありました。

石井さんによると、昔、飯能に天然雪のスキー場があったそうです。雪が少なく、すぐに潰れたとのこと。 [奥武蔵スキー場](#)

山歩きの終盤、アカメヤナギを少し過ぎたところに「杖として拾った枝は家まで持ち帰って」という趣旨の看板を見つけました。意外に思って岡登さんに理由を尋ねてみると、山道の入口に枝が山積になって困るからだとのこと。「なるほど」と納得して少し歩いた所にその証拠がありました。

看板に立てかけられた枝



拾った枝は家まで持ち帰って」という趣旨の看板を見つけました。意外に思って岡登さんに理由を尋ねてみると、山道の入口に枝が山積になって困るからだとのこと。「なるほど」と納得して少し歩いた所にその証拠がありました。

曇りのち雨という天気予報は外れて時折陽も差す天気の下で、参加者の皆さんからたくさんのお話を学ばせていただき、とても快適で、楽しく、有益な散策会となりました。

休憩中



締め「糰」ソフト(発酵食品館 OH!!!)

